# 高知県立大学文化学部卒業生アンケート報告書

2021 年 5 月 高知県立大学文化学部

# 目次

1. 調査概要	1
2. 調査結果 ´	1
【質問 1】卒業された年次はいつですか。	1
【質問 2】大学時代の講義やゼミなどの授業で学んだ経験は、現在どの程度、役立っていると思いますか。	
【質問 3】大学時代に講義やゼミなどの授業で学んだ経験は、それぞれ現在どの程度、役立っていると思いますか。	2
【質問4】質問3で挙げた講義以外での大学時代の経験は、それぞれ現在どの程度、役立っていると思いますか。	3
【質問 5】次の①~⑦は、高知県立大学文化学部を卒業する際に授与される「学士(文化学)」の学位を有する者が、身に付けていることを期待される能力です。在学中に身に付いた(高まった)と思う力や、もっと身に付けておきたかった(高めておけばよかった)と思う力について、あてはまる項目すべてにチェックを入れてください。	4
【質問 6】在学中における、大学に対する満足度についてお答えください。	4
【質問 7】質問 6 の回答結果について、よろしければ、その理由を教えてください。(自由記述)	5
【質問 8】あなたの現在の勤務先の業種(日本標準産業分類に基づく区分)は次の中のどれにあてはまりますか。あてはまる項目にチェックをつけてください。	
【質問 9】あなたの現在の勤務先の職種(日本標準職業分類に基づく区分)は次の中のどれにあてはまりますか。あてはまる項目にチェックをつけてください。	
【質問 10】卒業生として、今後の高知県立大学文化学部に期待すること、ご意見・ご要望などがあれば、お聞かせください。(自由記述)	3
3. 統計分析 12	2
3-1 記述統計量12	2
3-2 各項目間の相関14	4
附録 高知県立大学文化学部の卒業生アンケート(設問一覧)15	ō

# 1. 調査概要

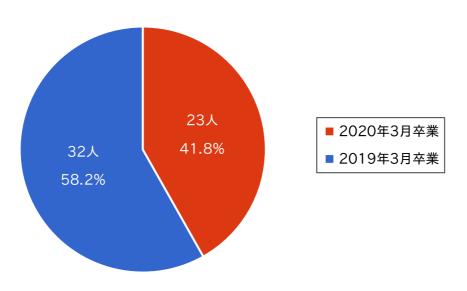
図表1 調査の概要

J	頁	E	1	内容
調	查	期	間	2021年3月26日~2021年4月30日
調	查	対	象	2018 年度文化学部卒業生、および、2019 年度文化学部卒業生
調	查	方	法	郵送による web アンケート(Google フォーム)回答依頼
回	収	状	況	依頼文書送付数 253 通 回答数 55 件 回収率 21.74%
調	查	項	目	1. 大学時代の様々な経験の現在における役立ちについて
				2. ディプロマ・ポリシーの到達度について
				3. 大学に対する満足度について
				4. 現在勤務している業種および職種について
調	查	主	体	高知県立大学文化学部

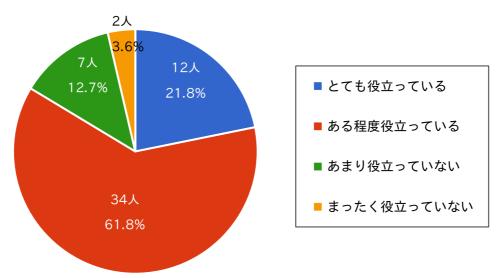
# 2. 調査結果

【質問1】卒業された年次はいつですか。

図表 2 回答者の卒業年月(回答数 55)

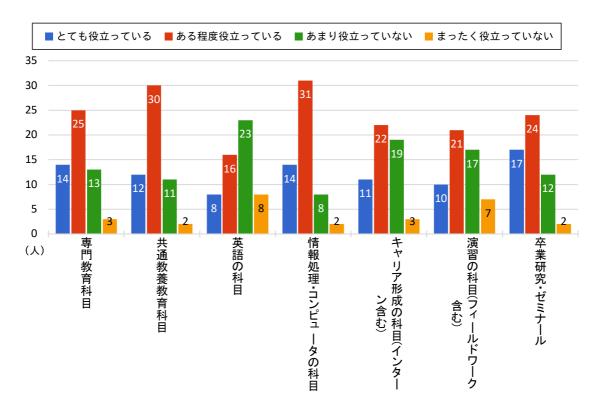


【質問 2】大学時代の講義やゼミなどの授業で学んだ経験は、現在どの程度、役立っていると思いますか。



図表3 大学時代の経験の現在における役立ち(回答数55)

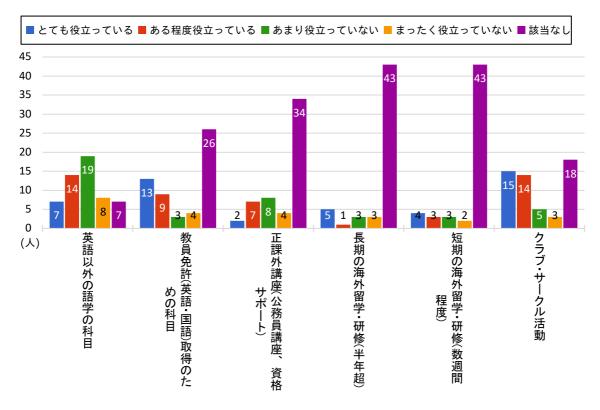
【質問 3】 大学時代に講義やゼミなどの授業で学んだ経験は、それぞれ現在どの程度、 役立っていると思いますか。



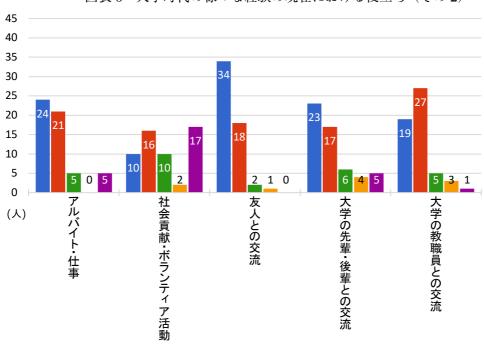
図表 4 大学時代の授業の経験の現在における役立ち (回答数 55)

## 【質問4】質問3で挙げた講義以外での大学時代の経験は、それぞれ現在どの程度、 役立っていると思いますか。

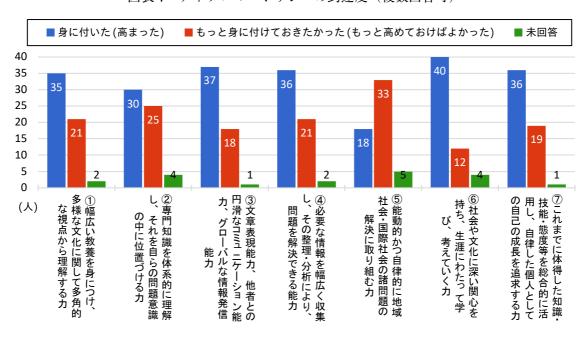
図表 5 大学時代の様々な経験の現在における役立ち (その 1)



図表 6 大学時代の様々な経験の現在における役立ち (その 2)

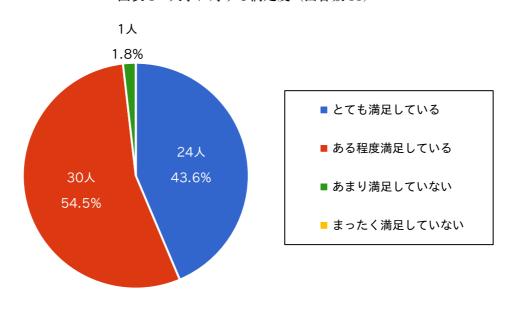


【質問 5】次の①~⑦は、高知県立大学文化学部を卒業する際に授与される「学士(文化学)」の学位を有する者が、身に付けていることを期待される能力です。在学中に身に付いた(高まった)と思う力や、もっと身に付けておきたかった(高めておけばよかった)と思う力について、あてはまる項目すべてにチェックを入れてください。



図表7 ディプロマ・ポリシーの到達度(複数回答可)

【質問 6】在学中における、大学に対する満足度についてお答えください。



図表8 大学に対する満足度(回答数55)

### 【質問7】質問6の回答結果について、よろしければ、その理由を教えてください。 (自由記述)

図表 9 大学に対する満足度の理由(回答数 33)

#### 【とても満足している】19回答

- ・幅広い分野の授業を受けることで、卒業後に新たに取り組む目標につながりました。
- ・大学で得た学びが、今の仕事に生かせているから。
- ・在学中に学んだ知識を活かす仕事を現在しているわけではないが、社会の中で様々な 事柄や人と関わることにおいて、文化学部の強みである、多様な文化に対して多角的 な視点で考える経験は今も活かされていると感じるため。偏見や決めつけは少なく、 広義的な意味で相手の文化を受け入れることができている。
- ・社会人にとって必須な教養やマナーも身につけられたから。
- ・立地条件がいい。また、友達や先生にも恵まれた。
- ・友達とあれやこれや考えたり話すのがおもしろかったから。
- ・現在就いている教員の仕事に生かせる知識や経験を豊富に積むことができたから。
- ・充実した4年間を過ごせました。
- ・大学に行かないといけない経験ができたため。
- ・学生や教員との交流が沢山あった。興味のある科目が多く、授業も沢山受けることができた。フィールドワークや卒業論文は大変だったが、その分豊富な経験か得られた。
- ・自分の興味のある分野、そこから派生して興味を持った分野について幅広く学べたから。 ずっと大切にしたい友だちと繋がることができたから。
- ・文化系の科目をひとつだけ専門的に学ぶのではなく、体系的に幅広く学べたから。高 知のことを学べたこともよかったです。教員とのコミュニケーションによって、授業 外の教養を身につけることができました。
- ・大学を通して色々な経験ができ、また様々な人と交流ができたことで、自分自身が成 長できたと実感したから。
- ・先生と学生との距離が近い。自分の努力でいくらでも勉強できる(努力は報われる)。
- ・楽しい 4年間でした!!
- ・大学を通じてよき友人に出会えたため。

- ・様々な分野の知識を身につけることができ、最高の友人にも出会え、とても充実した 学生生活であった為。
- ・自分の人生に大いに活用されています。特に法律関係が有用でした。
- ・4年間学業と仕事を両立出来たのは、先生方や事務方からサポートを頂けたからです。

#### 【ある程度満足している】13回答

・先生方にすごくお世話になりました。また、大学事務の方、就職支援室の方にも大変 丁寧に、沢山助けて頂き、感謝しております。中学校教員として採用して頂き、充実 したキャリアを積めているのも、大学時代に関わってくださった方々のお陰だと思っ ております。

ただ、1つ残念だったことを挙げるとするならば、県立大学の他の学部に比べ、文化学部に割り当てられた資金が少ないように思われたことです。その結果、グローバルな人材育成を目指しているにもかかわらず、英語以外の第2外国語の授業の削減、親からの資金面での協力が得られる人のみ県立大学の長期留学プログラムが可能になることなど、学びたいことが学べない状況にある生徒もいるかと思います。池キャンパスの学部のみではなく、文化学部にも教育資金を頂ければと思います。看護学部が有名ということで、そちらに注力しているのも承知の上で申し上げます。

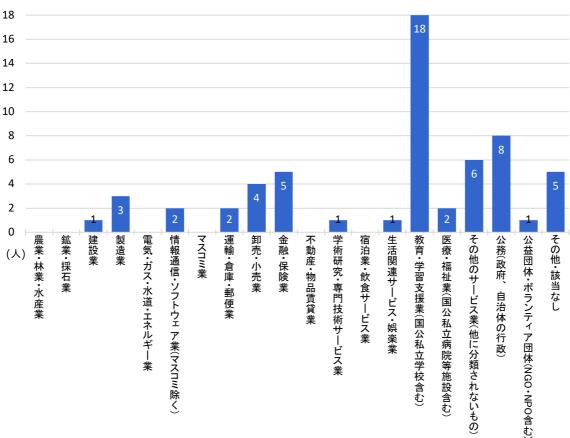
- ・興味のある分野をどんどん追求できて、充実した大学生活でした。
- ・立志社中の活動や、海外留学の経験ができ、幅広い分野での学びを得ることができた から。
- ・学びたいことを学ぶことができたため。
- ・これといった理由があるわけではないが、充実した大学生活だったから。
- ・ある程度満足はしていた。しかし、学内の閉鎖時間が早いことや図書館の開館時間が 短いことなどから、他大学と比べると、研究に没頭できる時間が圧倒的に制限されて いた。そこは研究機関に通う身としては少し残念に感じた。
- ・自ら選択して活動できる環境、時間があったため。
- ・今役に立っていない科目があるものの、大学で学んだことを活かして仕事ができているから。
- ・沢山のことを学べ、その経験を活かすことができるから。
- ・教員免許の資格取得の独自規定が邪魔。

- ・今役に立っていない科目があるものの、大学で学んだことを活かして仕事ができているから。
- ・大学で身につけた、生涯学び続ける意欲、学ぶ手段を仕事にも活かすことができてい るため。
- ・大学で得た友人との交流は今でも自分の支えとなっているから。

#### 【あまり満足していない】1回答

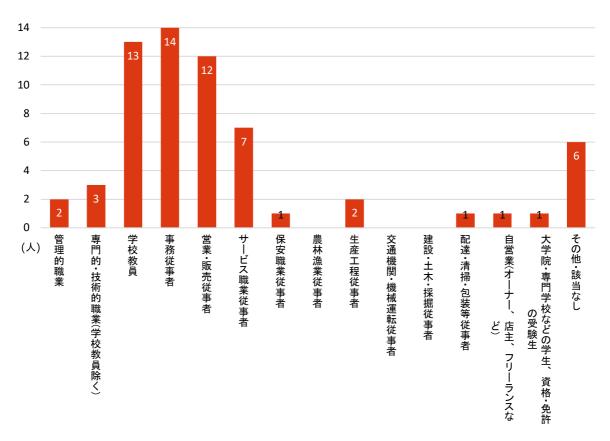
・卒業に必要な 124 単位のうち、選択した専門領域と隣接する専門領域からたくさん取りやすいように、もっと専門性を持てるようなカリキュラムや、時間割など工夫して欲しかった。

【質問 8】あなたの現在の勤務先の業種(日本標準産業分類に基づく区分)は次の中のどれにあてはまりますか。あてはまる項目にチェックをつけてください。



図表 10 現在の勤務先の業種(複数回答可)

【質問 9】あなたの現在の勤務先の職種(日本標準職業分類に基づく区分)は次の中のどれにあてはまりますか。あてはまる項目にチェックをつけてください。



図表 11 現在の勤務先の職種(複数回答可)

【質問 10】卒業生として、今後の高知県立大学文化学部に期待すること、ご意見・ご要望などがあれば、お聞かせください。(自由記述)

図表 12 文化学部に対するメッセージ (回答数 27)

- ・金澤先生、お元気ですか。2019年度に卒業したゼミ生です。私は今でも変わらず地元 の中学校で英語教員をしています。またメールを送ります。
- ・就活はまじめに頑張ろう!さもないと大変なことになりますよ。
- ・文化学部のご発展と学生のご活躍を応援しています。
- ・同窓会の実施。
- ・司書などの資格がとれるようにしてほしい。

- ・重ねて、先生方、大学事務の皆様、ワクワクワークの皆様、毎日大学の清掃を行って くださっている皆様、大変お世話になりました。県立大学で充実した毎日を送らせて 頂きました。大学の満足度の欄に、要望も書かせていただいております。よろしくお 願いします。
- ・教員になって進路指導に携わることがありますが、県大の名前が出るといつも個人的 におすすめしてしまいます。生徒が進学していきましたらまたよろしくお願いしま す。
- ・キャンパスが文教地区に立地することや、工科大との繋がりもあることをうまく活用して、外部機関とも連携した取り組みを期待します。学生だけでなく、先生方も含めて近隣施設などと一緒に取り組み、研究や教育の発展に繋がってほしいです。また、私は夜間主で学びましたが、今後も社会人や学びたい人は誰でも学べる機会が増えるとありがたいです。高知の課題や文化等をより専門的に学べる講座などを期待します。
- ・とても楽しい4年間でした。ありがとうございました。東原ゼミ楽しかったです!また機会があれば先生のゼミ室伺いたいと思います。お元気でお体に気をつけて頑張ってください。私も頑張ります。
- ・切実に高知県を盛り上げてください! できれば明るいニュースで盛り上げてください! そして県立大を盛り上げるお手伝いを私たち卒業生にもさせてください!
- ・また会いに行きます!4年間お世話になりました。
- ・好きなことを突き詰めることができ、充実した学生生活を過ごせたのでとても満足しています。今後も幅広い分野を学ぶことの出来る環境を維持し、学生たちの興味関心に寄り添える学部であってほしいと願っております。高校の教員をしていますので、生徒に全力でおすすめできる学部であり続けてください。また、東原先生に「ゼミでの学びを存分に発揮し、しごとをしています。ありがとうございました。お元気にお過ごしください。」とお伝えください。貴学部の益々の発展をお祈りしております。
- ・高西ゼミ卒業生のです、在学中は大変お世話になりました。私はいま、という会社で働いて3年目になります。先輩たちに支えられ、毎日走り回っています…!大学生活で得た情報収集力やプレゼン力をフル活用して、お客様のためにより分かりやすい説明ができるよう頑張っています。コロナ禍で自分たちのいた時とは全く違うんだろうなと感じていますが、いつでも学生一番の大学でいてください、よろしくお願いいたします。長文失礼いたしました。

- ・学生寮の改築または環境整備サポートの改善をもし可能ならば期待します。4年間学 ばせていただきありがとうございました。
- ・大学 2、3 年で郡部の地域住民と交流できた経験は、自分たちの今いる環境とは全く 違う現状の社会を知ることができ、良い意味でもつらい意味でも刺激的でした。高知 県の現状を知り、そこで感じたものや学んだことを今後の自分の考え方の糧にし、こ れからの地域振興に役立てられることは地域住民との距離が近い高知県立大学の強 みだと思います。コロナ禍で大変でしょうが、そのような機会が途絶えることなくあ れば良いと思います。また、高知県民だと学費か入学金が減免される?制度があった と思いますが、私自身とても助かったため、貧困化の中でも学生に対して門戸の開か れた大学であってほしいです。私は県外に就職しましたが、多様な文化、他者に対す る見方が広がるような経験をした人が高知県から輩出され、社会がもっと良くなるこ とを期待しています!
- ・先生方もお元気でお過ごしください。
- ・コロナが落ち着いた頃には、公開講座など一般人や卒業生が参加しやすい催しを多く 開いてほしい。
- ・夜間主コースが、今後も社会人が働きながら学べる環境であることと幅広い世代の学生が討論出来る場であり続けることを願っています。卒論引受が難しいような題目にも関わらず丁寧に指導、アドバイスいただけました。とても感謝しています。ありがとうございました。
- ・グローバルかつローカル的な視点を持った学生を育てるための教育カリキュラムや、 幅広い職業で活動する方たちとの交流、ゼミでの専門的知識や情報収集等への学びが できる大学になってほしいと思います。
- ・田中先生の「社会人はずっと卒論を書いているくらいしんどいよ」と言う言葉は本当 でした。卒論にお付き合いいただきありがとうございました。
- ・私にとって、貴学は、母校として誇りを持って語ることができる場所となりました。 人生に必要な教養を身につけ、生きる力を養うことができました。また、高知県の良 さや課題を知ることは、県外で生きていく上でも役に立つことだったと感じていま す。今後も学生の要望をひとつひとつ丁寧に聞いて解決していってほしいと思いま す。

(学生へ) 4 年の大学生活は苦しいことも楽しいことも同じくらいあります。でも諦めず、置かれた場所を大切に本当に自分の学びたいことを見つけていってください。これから高知県立大学で学ばれる皆様が、意欲的に講義に取り組み、また、その学びを

社会に発信する力になっていかれることを切に望みます。大学外でのつながりもしっかり作ってください。悔いのない大学生活を。

(先生方へ) コロナウイルス感染症が終息致しましたら、またお伺いしたいと思っております。そのときは、よろしくお願いします! (アンケートは忖度なしです笑 )

- ・特にありません!
- ・今はどうなのかわからないですけど、成績出すのが後期の始まりの日というのはさすがに困るのでもう少し早いと嬉しいなと思います。要望はそれだけです。どれかと言われると答えに困りますが、全体として、大学生活には満足しており、自分が生きて行く上で大きな学びがあったと思います。特に梶原先生のキャリア教育の授業で学んだ、キャリアアンカーという考えは、何のために生きて行くのかということを考えるきっかけになりました。だから、というわけではないのですが、教員を諦め、教育機関で事務職員として働くと言う選択につながり、これから働く身ですが、長い目で見て、何をして行くのかということを考えることができました。あと授業面白かったです。ありがとうございました。
- ・「地域共生推進士」の称号の活用の仕方があまり分かりません。その取得過程で学んだことはとても力になっていますが、資格ではないため履歴書にも書けず、称号を披露する場もない。それであれば、当該称号養成プログラムを取らずとも、地域文化創造系の科目を受講するだけでもよいのかなと感じてしまいます。この称号のブランド力をどうにか上げるなどして、この称号保持者と非保持者の差別化を!
- ・在学時、検定の合格の制限のため、教職課程を諦めることになった友人がいました。 自分よりも熱意を持って教員を志望していたので、非常に残念でした。教員に必要な 能力であることは分かりますが、他の大学ではそのような制限無しに取得できるはず の免許なので、誰にでも履修できる課程になれば良いなと思います。

注) 教員名以外の個人の識別性のある情報は当該部分を被覆しています。

# 3. 統計分析

## 3-1 記述統計量

図表 13 4 段階評価における点数換算表

質問 2、質問 3、質問 4	質問 6	点数
とても役立っている	とても満足している	4
ある程度役立っている	ある程度満足している	3
あまり役立っていない	あまり満足していない	2
まったく役立っていない	まったく満足していない	1

図表 14 役立ちおよび満足度の記述統計量

質問項目	回答数	平均	標準偏差
質問 2 大学時代の経験の現在における役立ち	55	3.02	0.71
質問 3-1 専門教育科目	55	2.91	0.84
質問 3-2 共通教養教育科目	55	2.95	0.76
質問 3-3 英語の科目	55	2.44	0.92
質問 3-4 情報処理・コンピュータの科目	55	3.04	0.74
質問 3-5 キャリア形成の科目(インターン含む)	55	2.75	0.84
質問 3-6 演習の科目(フィールドワーク含む)	55	2.62	0.93
質問 3-7 卒業研究・ゼミナール	55	3.02	0.83
質問 4-1 英語以外の語学の科目	48	2.42	0.94
質問 4-2 教員免許(英語・国語)取得のための科目	29	3.07	1.07
質問 4-3 正課外講座(公務員講座、資格サポート)	21	2.33	0.91
質問 4-4 長期の海外留学・研修(半年超)	12	2.67	1.30
質問 4-5 短期の海外留学・研修(数週間程度)	12	2.75	1.14
質問 4-6 クラブ・サークル活動	37	3.11	0.94
質問 4-7 アルバイト・仕事	50	3.38	0.67
質問 4-8 社会貢献・ボランティア活動	38	2.89	0.86
質問 4-9 友人との交流	55	3.55	0.66
質問 4-10 大学の先輩・後輩との交流	50	3.18	0.94
質問 4-11 大学の教職員との交流	54	3.15	0.81
質問 6 大学に対する満足度	55	3.42	0.53

注)質問4の「該当なし」は回答数から除く。

図表 15 ディプロマ・ポリシーの到達率 (回答数 55)

能力	到達者数	到達率
①幅広い教養を身につけ、多様な文化に関して多角的な視点 から理解する力	35	63.64%
②専門知識を体系的に理解し、それを自らの問題意識の中に位置づける力	30	54.55%
③文章表現能力、他者との円滑なコミュニケーション能力、 グローバルな情報発信能力	37	67.27%
④必要な情報を幅広く収集し、その整理・分析により、問題 を解決できる能力	36	65.45%
⑤能動的かつ自律的に地域社会・国際社会の諸問題の解決に 取り組む力	18	32.73%
⑥社会や文化に深い関心を持ち、生涯にわたって学び、考え ていく力	40	72.73%
⑦これまでに体得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、 自律した個人としての自己の成長を追求する力	36	65.45%

注) 到達者数は、「身に付いた(高まった)」と回答した者の数。到達率=到達者数÷回答数

図表 16 ディプロマ・ポリシーの到達項目数別人数および平均到達項目数 (回答数 55)

到達 項目数	7 項目	6 項目	5 項目	4 項目	3 項目	2 項目	1 項目	0 項目	平均到達 項目数	標準偏差
人数	11	6	9	10	6	6	4	3	4.22	2.12

注) 到達項目数は、各人の回答中の「身に付いた(高まった)」の回答数。

#### 3-2 各項目間の相関

総合的な評価項目である、質問 2「大学時代の講義やゼミなどの授業で学んだ経験は、現在どの程度、役立っていると思いますか。」、および、質問 6「在学中における、大学に対する満足度についてお答えください。」の回答、ならびに、質問 5 のディプロマ・ポリシー (DP) の到達項目数と、個別具体的な評価項目である質問 3 から質問 4 の回答との間の相関は、図表 17 の通りです。

図表 17 各項目間の相関

<b>展</b> 朗语 C	回 質問 2			質問 (	6	DP 到達項目数	
質問項目	台数	係数	t 値	係数	t 値	係数	t 値
質問 2 大学時代の経験の現在における役立ち	55	1					
質問 3-1 専門教育科目	55	0.6850 ***	6.8450	0.4144 ***	3.3151	0.2384 *	1.7871
質問 3-2 共通教養教育科目	55	0.5566 ***	4.8773	0.2413 *	1.8099	0.3308 **	2.5516
質問 3-3 英語の科目	55	0.2158	1.6090	-0.0392	0.2853	0.0358	0.2605
質問 3-4 情報処理・コンピュータの科目	55	0.2802 **	2.1254	0.0542	0.3954	0.3230 **	2.4844
質問 3-5 キャリア形成の科目(インターン含む)	55	0.3184 **	2.4455	0.1997	1.4834	0.2590 *	1.9525
質問 3-6 演習の科目(フィールドワーク含む)	55	0.3759 ***	2.9527	0.2523 *	1.8980	0.2392 *	1.7937
質問 3-7 卒業研究・ゼミナール	55	0.6642 ***	6.4687	0.2760 **	2.0902	0.0926	0.6768
質問 4-1 英語以外の語学の科目	48	0.1751	1.2059	0.1886	1.3027	0.3766 **	2.7573
質問 4-2 教員免許(英語・国語)取得のための科目	29	0.5562 ***	3.4774	0.3458 *	1.9147	-0.1784	0.9419
質問 4-3 正課外講座 (公務員講座、資格サポート)	21	0.5843 ***	3.1388	0.2928	1.3349	0.1768	0.7832
質問 4-4 長期の海外留学・研修(半年超)	12	0.6948 ***	3.0551	0.2988	0.9901	0.1226	0.3907
質問 4-5 短期の海外留学・研修(数週間程度)	12	0.5764 **	2.2307	0.3078	1.0230	-0.0093	0.0295
質問 4-6 クラブ・サークル活動	37	0.1775	1.0669	0.2013	1.2161	0.2133	1.2916
質問 4-7 アルバイト・仕事	50	0.4021 ***	3.0430	0.1027	0.7156	0.3341 **	2.4562
質問 4-8 社会貢献・ボランティア活動	38	0.4535 ***	3.0528	0.4905 ***	3.3775	0.2081	1.2766
質問 4-9 友人との交流	55	0.0180	0.1311	-0.0811	0.5920	0.1510	1.1122
質問 4-10 大学の先輩・後輩との交流	50	0.2485 *	1.7774	0.0089	0.0615	0.2124	1.5063
質問 4-11 大学の教職員との交流	54	0.4453 ***	3.5865	0.0692	0.5004	0.1864	1.3677
質問 5 ディプロマ・ポリシーの到達項目数	55	0.0837	0.6114	0.0978	0.7152	1	
質問 6 大学に対する満足度	55	0.2249 *	1.6804	1			

注)\*\*\*は p<0.01、\*\*は p<0.05、\*は p<0.10 で有意。係数はピアソン相関係数。

## 附録 高知県立大学文化学部の卒業生アンケート (設問一覧)

#### 高知県立大学文化学部の卒業生アンケート(設問一覧)

※Webの回答フォームより、下記の質問にご回答ください。

質問 1. 卒業された年次はいつですか。



□2020 年 3 月卒業	□2019年3月卒業	

質問 2. 大学時代の講義やゼミなどの授業で学んだ経験は、現在どの程度、役に立っていると思いますか。
□とても役立っている □ある程度役立っている □あまり役立っていない □まったく役立っていない

質問 3. 大学時代に講義やゼミなどの授業で学んだ経験は、それぞれ現在どの程度、役立っていると思いますか。各項目ごとにお答えください。

	とくも役立つ	める程度役立	あより役立つ	まつたく役立
	ている	っている	ていない	っていない
○専門教育科目				
○共通教養教育科目				
○英語の科目				
○情報処理・コンピュータの科目				
○キャリア形成の科目(インターン含む)				
○演習の科目(フィールドワーク含む)				
○卒業研究・ゼミナールの科目				

質問 4. 「質問 3」で挙げた講義以外での大学時代の経験は、それぞれ現在どの程度、役立っていると思いますか。各項目ごとにお答えください(経験のない項目である場合は「該当なし」を選択してください)。

	とても役立っ	ある程度役立	あまり役立っ	まったく役立	該当なし
	ている	っている	ていない	っていない	
○英語以外の語学の科目					
○教員免許(英語・国語)取得のための科目					
○正課外講座 (公務員講座、資格サポート)					
○長期の海外留学・研修(半年超)					
○短期の海外留学・研修(数週間程度)					
○クラブ・サークル活動					
○アルバイト・仕事					
○社会貢献・ボランティア活動					
○友人との交流					
○大学の先輩・後輩との交流					
○大学の教職員との交流					

1

質問 5. 次の①~⑦は、高知県立大学文化学部を卒業する際に授与される「学士(文化学)」の学位を有する者が、身に付けていることを期待される能力です。在学中に身に付いた(高まった)と思う力や、もっと身に付けておきたかった(高めておけばよかった)と思う力について、あてはまる項目すべてにチェックを入れてください。複数回答可

□身に付いた(高まった) ○もっと身に付けておきたかった(もっと高めておけばよかった)

①幅広い教養を身につけ、多様な文化に関して多角的な視点から理解する力	
②専門知識を体系的に理解し、それを自らの問題意識の中に位置づける力	
③文章表現能力、他者との円滑なコミュニケーション能力、グローバルな情報発信能力	
④必要な情報を幅広く収集し、その整理・分析により、問題を解決できる能力	
⑤能動的かつ自律的に地域社会・国際社会の諸問題の解決に取り組む力	
⑥社会や文化に深い関心を持ち、生涯にわたって学び、考えていく力	
⑦これまでに体得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自律した個人としての自己の成長を追え	隊するカ □ ○

質問 6. 在学中における、大学に対する満足度についてお答えください。

□とても満足している □ある程度満足している □あまり満足していない □まったく満足していない

質問 7. 「質問 6」の回答結果について、よろしければ、その理由を教えてください。

質問 8. あなたの現在の勤務先の業種(日本標準産業分類に基づく区分)は次の中のどれにあてはまりますか。あてはまる項目にチェックをつけてください。複数回答可

- ○農業・林業・水産業 ○鉱業・採石業 ○建設業 ○製造業 ○電気・ガス・水道・エネルギー業 ○情報通信・ソフトウェア業(マスコミ除く) ○マスコミ業 ○運輸・倉庫・郵便業
- ○卸売・小売業 ○金融・保険業 ○不動産・物品賃貸業 ○学術研究・専門技術サービス業
- ○宿泊業・飲食サービス業 ○生活関連サービス・娯楽業 ○教育・学習支援業(国公私立学校含む)
- ○医療・福祉業(国公私立病院等施設含む) ○その他のサービス業(他に分類されないもの)
- ○公務(政府、自治体の行政) ○公益団体・ボランティア団体(NGO・NPO 含む) ○その他・該当なし

質問 9. あなたの現在の勤務先の職種 (日本標準職業分類に基づく区分) は次の中のどれにあてはまりますか。あてはまる項目にチェックをつけてください。複数回答可

管理的職業 ○専門的・技術的職業(学校教員除く) ○学校教員 ○事務従事者 ○営業・販売従事者
 サービス職業従事者 ○保安職業従事者 ○農林漁業従事者 ○生産工程従事者
 交通機関・機械運転従事者 ○建設・土木・採掘従事者 ○配達・清掃・包装等従事者
 自営業(オーナー、店主、フリーランスなど) ○大学院・専門学校などの学生、資格・免許の受験生
 その他・該当なし

質問 10. 卒業生として、今後の高知県立大学文化学部に期待すること、ご意見・ご要望などがあれば、お聞かせください。また、大学への通信欄としてもご自由にご記入ください。ゼミの先生へのメッセージでもかまいません。

### 高知県立大学文化学部卒業生アンケート報告書

著 者:高知県立大学文化学部 発行者:高知県立大学文化学部

〒780-8515 高知市永国寺町 2-22

発行日:2021年5月5日

問い合わせ先:〒780-8515 高知市永国寺町 2-22

高知県立大学文化学部(担当:梶原太一)

kajiwara@cc.u-kochi.ac.jp